

数一覽」が付されている。

紹介とはいささか偏頗なものになったが、本書は新聞の影響力を考える際の方法論・データを提供したという点で政治史の側からも注目さるべきであろう。なお、日本型新聞の特性たる「不偏不党」性については同じ著者により『新聞と民衆』（一九七三年）で別に論じられている。

（四六判 四三六頁 一九八一年六月 法政
大学出版局 二六〇〇円）

（松延秀一 京都大学大学院生）

C・ブリッカー 著

矢守一彦 訳

『世界の古地図』

本書は Mapchosen and displayed by R. V. Tooley and Text written by C. Bricker, LANDMARKS OF MAPMAKING, An Illustrated Survey of Maps and Mapmakers, Elsevier-Sequoia, Brussels, Lausanne, 1968. の全訳である。

所収地図の撰択・配列に当たったトゥーリー氏は Maps and Mapmakers, 1948 や Tooley's Dictionary of Mapmakers, 1979.

の著者として知られる斯界の重鎮、本文執筆のブリッカー氏は地図発達史に関心を有するジャーナリスト、序文執筆者のクロン氏は元王立地理学会地図キュレーターである。

本書の特質は、マインシャル群島の航海図やバビロニアの粘土板世界図など早期の地図類より、現代地図の直接の基礎をなす一九世紀の地図に至るまでの長期かつ広汎な地域に存在した地図を、一四の折込地図、五〇に及ぶ挿図として提示し、地図の技術三的發展史の概述よりはじめて、ヨーロッパよりオーストラリアに及ぶ五大陸の地図のあゆみとその背景を説く。各章はいずれもはつきりした視点に立って叙述され、たとえばヨーロッパの章では地図の出版の歴史が、またアジアについてはインド・東南アジアへの航路の探究が、アフリカについては古代以来知られながら一九世紀まで残存する謎の土地が、アメリカについては新しい世界像への劇的転換が、オーストラリアではブトレマイオス以来の南方大陸の位置の変化と内陸・海岸の探検等々が地図の技術的發展と地域の担っていた課題とともににたくみに語られる。

それは、すでに述べた点から判るように、西ヨーロッパ主体の西ヨーロッパの世界への拡大という世界観に裏打ちされたものであることはいうまでもない。訳者もあとがきで批判しているような原著のこのような姿勢は、本書に緊密なまとまりをもたらしているとともに、反面アジアの記載——ことに伝統的土着的なアジアの諸地図についての不十分な叙述の——一因ともなっている（訳者は、この点の不十分さを補うため、参考文献にわが国の業績の若干を追補している）。

しかし、広汎な地図発達史を美しい多数の地図を配列し概観させてくれる本書は、地図愛好家のみでなく研究者にも種々の点で刺激を与えるところがあり、その訳出が待望されていた。この度の矢守教授の訳業はこの点時宜を得たものであった。それは織田武雄教授の名著『地図の歴史』（一九七三）を資料面で補うとともに、さらに新しい研究への手段を地名・インスクリプションの判読可能な大型図版によって提供し、てくれる点、研究者にとっても大きな便宜を供与されたことになる。

総じて訳文は明析で理解しやすく、人名

・書名も注意深く、英・独・仏・ラテン・イタリア・ポルトガル・スペイン語音に読み分けられている。地図作成家で、世上の人名辞典に掲載される例の必ずしも多くないことを思えば、それは大変に貴重な仕事と評価されるであらう。他方、文脈を忠実に辿って訳した場合、晦渋となつて一読ただちに理解に至ることが困難なケースでは、思い切つて原文を分割し、意味の正確な疏通をはかった例も存在する。この小心さと大胆さ、そしてこれらの程のよい調和、これが本訳書のもっともすぐれた点であらう。訳者あとがきは識見にあふれたものである。現在の地図史研究に照らして原著の誤りや不十分な点を適確に指摘するとともに、その西欧中心の観点を批判している。

(B5変型大判、本文二六〇頁、序文その他一二頁、一九八一年六月 日本ブリタニカ株式会社)
(船越昭生 奈良女子大学文学部教授)

受贈図書

(一九八〇年九月五日～一九八一年一月二六日)

- 社会科学 (朝鮮社会科学院図書館) 四
- 文化語学習 (朝鮮社会科学院図書館) 三
- 歴史学報 (韓国歴史学会) 八六
- 歴史科学 (朝鮮社会科学院図書館) 三
- 郡山良光著 幕末日露関係史研究 (国書刊行会、郡山尊子贈)
- Shan-Yuan Hsieh 著 The Life and Thought of Li K'un
- 神道史研究 (祇園八坂神社神道史学会) 二八—三
- 大津市史三卷 (大津市役所)
- 経済経営論集 (龍谷大学経済経営学会) 二〇—一
- 考古 (中国社会科学院考古研究所) 四期
- Y・M・ベルセ著 (井上幸治監訳) 祭りと叛乱 (新評論)
- 人文論叢 (福岡大学研究所) 一二—二
- 紀要 (札幌大学) 一六
- 人文学報 (東京都立大学) 一三八—一四四
- 学園史研究 (花園大学) 一
- 研究集録 (神戸大学教育学部) 六四
- 紀要 (中央大学文学部史学科) 二五
- 民族研究 (北京民族研究所) 五
- 史学研究 (広島史学研究会) 一四九
- 一橋研究 (一橋大学大学院一橋研究委員会) 五一—
- 一橋論叢 (一橋大学一橋学会) 八四—四
- 岐阜史学 (岐阜大学教育学部) 七二
- 社会科学 (朝鮮社会科学院図書館) 五
- 歴史科学 (朝鮮社会科学院図書館) 四
- 韓国史研究叢報 (韓国国史編纂委員会) 三〇
- 日本文化史研究 (帝塚山短期大学) 四
- 大阪市立博物館報 (大阪市立博物館) 一
- 九
- 大阪市立博物館研究紀要 (大阪市立博物館) 一二
- 堂崎豊著 水上王国邪馬台国 (堂崎豊)
- 歴史学論集 (山梨大学教育学部歴史学教室) 二三
- 文化語学習 (朝鮮社会科学院図書館) 四
- 文明 (東海大学文明研究所) 三〇
- 一橋研究 (一橋大学大学院一橋研究委員会) 五一—
- 龍谷大学論集 (龍谷学会) 四一七